

グループ名：G6 日本語

作成者：門脇 薫・澤邊 裕子・鎌田 美保・阪上 彩子・住田 環

3×3+3 分析表

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の中で、よく使われる食材、よく食べる食べ物に関する語彙がわかる。 ・可能形の作り方がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教上の理由や健康上（アレルギーなど）の理由、食習慣の違いなどで、食べ物に違いがあることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメートとの交流、活動を通し、お互いの違いを超えて協働していくとはどういうことか、について考える。
できる	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に食事をする場面で、自分が食べられるもの、食べられないものを言うことができる。 ・相手ができること、できないことを質問したり、自分ができること、できないことを言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの食習慣の共通点、相違点が理解できる。また、その相違点の理由を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化背景の異なるクラスメートと意見交換をしながら、パーティーの企画、準備、実施をする過程の中で自分の役割を果たすことができる。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語を通してお互いの食生活の習慣、得意、不得意なもの、できること、できないことを知ること、友だちとの関係を作っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が楽しめるパーティーを企画し、準備し、実施する中で、文化背景の異なるクラスメートと交流し、お互いの文化を受け入れて、尊重することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなパーティーを企画し、実際にどのようなパーティーになったのか、を他のクラスメートや、教員に対して発表する。
三連携	<p>【学習者】パーティーの企画→準備→実際のパーティーの報告、という活動の中で、メンバーそれぞれの得意なことを活かす。</p> <p>【教室外】反転授業により、教室外での自主学習と繋げる。食品の成分表示、アレルギー表示に注意が向けられる。企画したパーティーの実施。</p> <p>【既習内容・経験・他教科】教科書の既習内容（文法・語彙）</p>		

グループ名：G6日本語<食べ物>

作成者氏名：門脇薫・澤邊裕子・鎌田美保・住田環・阪上彩子

5+5 ステップ: 語彙

語彙リスト

刺身、納豆、梅干し、鶏肉、豚肉、牛肉、卵、そば、お酒、小麦、大豆、えび

プレゼンテーション

- 教師は食べ物の実物か写真を見せ、日本語の語彙を発音する。学習者はそれを聞き、日本語の音とモノを一致させる。
- 教師は文字（漢字含む）カードを見せ、日本語の語彙を発音する。学習者はそれを聞き、日本語の音と文字（漢字）を一致させる。

言葉で遊ぼう

{牛肉、牛乳、豚肉、鶏肉}、{梅干し、卵、小麦、大豆} などから仲間外れを見つける。

インプットアクティビティー

- かるたとり：教師が日本語で語彙を発音し、実物や写真をとるゲーム
- YES-NO 疑問文：教師が「はい」「いいえ」で答えられる、語彙を使った質問文を学習者に聞く。
例) 「昨日牛肉を食べましたか」「刺身を食べたことがありますか」など
- マッチング：そのもの写真やイラストと日本語の文字（漢字）を線で結ぶ。

アウトプットアクティビティー

- 教師は実物や写真を見せて、学習者はその語彙を日本語で言う。
- 買い物かごか、かごの絵に食材の絵カードを自分たちで選んでもらい何を買ったか報告する。
- 教師は食品の写真を見せ、学習者はその中に何が入っているか報告する。何が入っていないかを報告する。
例) 牛丼：牛肉が入っています。
小麦が入っています。



文法を入れる(文法の部分を見よ)

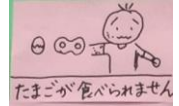
5+5 ステップ: 文法

文法構造・表現

- 食べられるもの、食べられないものが言える。
- できること、できないことを質問し、答えることができる。

プレゼンテーション

- ダイアログ (写真付きメニューを見ながら)
A: 何にしますか。これはどうですか。
B: すみません。私は◎◎が食べられないんです。
- 教師は腕にじんましんが出てる人と卵の絵カードを見せて「トムさんは卵が食べられません」と読む。イスラムの人の絵とお酒の絵を見せて「ムスリムですから、お酒が飲めません」「ベジタリアンですから肉や魚が食べられません」



インプットアクティビティー

- 反転授業: 可能形の文法ノートを読んでおく。
1で導入した文型に注意を払い、分析する。
- カルタ取り: 教師は可能形を使った文を読み、学習者は絵を見て、どれか選ぶ。
- YES-NO疑問文: 教師は「はい」「いいえ」で答えられる、可能形を使った質問文を学習者に質問する。
例) 「鶏肉が食べられますか」など

アウトプットアクティビティー: メカニカル

- 変換練習: 教師はいろいろな動詞の絵カードを見せて、学習者は可能形に変えて言う。
例) 牛肉を食べる→牛肉が食べられる
車を運転する→車が運転できる

アウトプットアクティビティー: ミーニングフル

- (パーティーをすることを前提に) 自分ができることを3つ言う。
例) 「ギターが弾けます」、「料理が作れます」、「重いものが持てます」

アウトプットアクティビティー: コミュニカティブ

- (1) 3~4人のグループになり、グループみんなが楽しめるパーティーを考える。食べられないもの、飲めないもの、できることなどをお互いに聞き合い、企画する。
例) A: 私は牛肉が食べられません。
B: じゃあ、牛丼はやめましょう。
C: 私は運転できます。
D: じゃあ、Cさん、スーパーで買い物してください。
- (2) 実際にパーティーを準備し、実施する。
- (3) 教室で、どんなパーティーを行ったかを各グループが発表する。